

刊夕 日七十月二



定額 一月五拾錢 郵費五錢
 廣告 五號十二字 一行五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐宮日新聞社
 印刷所 常磐宮日新聞社

常磐宮の田炭の發開

片寄平藏

【九】

山口彌一郎

寶田屋、大阪屋及び明石屋との取引は石炭の發見に依り一層密接となり家族同様店內の主要人物として働いた觀がある。然し石炭採掘を始めても尙ほ木材商は止めず各方面との取引並びに磐城地方の殊に椎茸等の買入等にまで手廣く活躍した。

安政六年大阪屋に出した秋田の菅運吉との取引の件につき次の如き文書がある
 人證申禮證文之事
 一、我等先代利兵衛より舊來引續板材木を差送賣捌き方御世話被下候處荷物出入前金借用相嵩返濟方延引及候に付嘉永二年酉の四月中羽州秋田表我等維下り同國雄勝郡河井村菅運吉と申者江取引致其後御支配人次助殿江板材木類仕出方御相談申上猶又同所江羅下り右運吉と兩人仲間にて山方仕出致引續き荷物差送り罷在候處其後雇船一條より事越り追々御相談向き行違に相成既に去年八月申運

吉壹人にて松平豊前守様江御訴訟申上御吟味濟之上夫々相分り仕り仕切口錢違之分運吉江御渡に相成右一件熟談内濟行届き候付而は其節私等仲間之儀に付兩人に而御出訴可致之處永年御取引罷在り誠に御恩も有之候間其御差控候に付此度格別の思召を以是迄借用金不殘御消帳被下候上右仲間分は勿論我等一名分兩様共仕切口錢違御勘定被下金百三拾七兩也別紙受取書之通今般御渡被下候段難有御厚禮奉申上候右様御實意之御取計被成下候上は彌々梓にも申聞別而出精仕多分に荷物差送可申上候間猶相變り御最負御引立奉願上爲後日禮證文仍而如件
 安政六巳未二月
 奥州岩城郡大森村
 古川屋平藏

右の文書は菅運吉との永年の取引が、餘りよく進展しなかつた内容を示し、大阪屋がその間よく平藏の世話をしたことがみられる。
 安政七年は既に平藏死去

大金 五拾兩也
 右者江戸四日市明石屋治右衛門殿推茸買入方御世話申上手付金として書面金子我等兩人にて慥に受取申候處相違無御座候然る上者追々買入差上可申候 以上
 安政七年申
 三月十九日
 上小川村
 紋重郎
 同村新田
 長次右衛門

大金 三拾兩也
 右者神谷村御役所御入用

の年であるが明石屋との間に磐城地方の物産として椎茸を賣出す事に盡力、後述の石炭採掘、外國貿易、仁井浦築港と如何に彼れが多面的に地方開拓に盡したかが窺はれる。

- 【朝】味噌汁—さつまいも
- 煮付 はせ佃煮
- 【晝】煮魚—鮮魚
- 【晚】さつまいも—里芋
- んにやく 人參
- ぼう 豚肉

推茸買代金之内儘に御預り申上候處相違無御座候然る上者早速品物御渡可申上候爲念仍而如件
 申上三月
 上小川村
 紋重郎

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
 川崎巡回文庫
 電六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

●店員募集(二、三名)
 十五、六才より十八才迄希望者は至急御來談あれ

小力子式極東蒸製製造元
 小鍛冶兄弟商會
 主 小鍛冶 永助
 福島縣平町三丁目二二
 電話 三三三番

喜多流謠曲と仕舞の
 お稽古をお勧め致します
 平田町六九
 喜多流 謠曲
 仕舞 白土會
 電話一二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さる。◇

石炭
 コークス
 玉炭
 平 驛 前
 阿部石炭商店
 電話三七七番

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

謝恩と奉仕
 燃ゆる大塚へ……
 靴!! 五圓以上一割引
 ● 嶄新なるスタイル
 ● 精選された材料
 ● 堅牢極まる品質
 ● 驚く可き廉價
 既に覇權を確立せる……
 大塚の靴
 平・田町
 大塚製靴部
 電話七十七番



一町村一千圓の 増收豫定で

郡農會副業獎勵

石城郡農會では農家の副業として本年度は郡南植田方に竹細工、山間方には木細工を奨励すべく目下準備中であるが農會の方針としては一町村一千圓平均の利益を擧げる計劃なので明年度農家の副利は相當潤ひを見てあらうと

土木豫算

委員會議議

平町土木委員會は本日午後一時より役場内に開會土木費豫算及び町有地公賣に關して協議した

原動機取扱講習

平署に出日から三日間

既報平署では明十八日より三日間同署會議室に原動機取扱ひに就いての講習會を開くが講師は縣の石坂技師である尙同講習は無條件で一般の來會を歡迎すると

要求工費

百萬圓か

郡内匡救工事

平土木監督所では管内各町村に九年度匡救土木事業計劃申請の提出を命じてあるが要求工費總額は百萬圓に達する見込みである

町議招集

豫算内示

平町役場では来る廿日午後一時より町會々議室に町會議員を招き來年度豫算の編成に關し内示會を行ふが

ルトモホールに市内各組合代表者を招集協議會を開く

中堅農民

講師と演題

既報昨十六日より開始した本郡中堅農民の學課講習會の講師及び演題左の如くである

共濟病院集談

石城共濟病院内醫學集談會では来る十八日午後七時より同院内に例會を開くが當日の演題及び講師左の如くである

平町人事

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

新婚

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

新刊紹介

△眞道(創刊第一號)日基

舊正二週番組

△平館一十八日

◎「ユヅ、猛獸王國」第二週◎日活現代劇
鈴木重吉監督、南部章三、夏川静江主演
「青春無情」◎清瀬英次郎監督、高瀬實乗、田村邦男主演、彌次喜多、前篇

◎朝日新聞提供二三吉、小梅「日本民謡集・第一輯」◎「ミツキのお化け屋敷」◎日活實寫「我が海軍」

△世界館一十九日

◎「松竹ニユース」一五二號

◎新興現代劇 壽々喜多呂九平監督、河津清三郎、花房銀子主演「十二階下の少年」◎松竹蒲田サウンド版 野村芳亭監督、川崎弘子、水久保澄子、竹内良一主演「天龍下れば」◎寛壽郎プロ 山本松男監督、嵐寛壽郎、鈴木勝彦主演「越後獅子の兄弟」

△松ヶ岡(第二輯)平第二小學校五年生の純情によりて作られた小きき創作玉の様な作品二十五篇が掲げられてある、磨寫版ずりのさやかなものであるが少女達の優雅な文藻を知るに絶好なるものとして推す

△眞道(創刊第一號)日基

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

平教會牧師中村月城氏主宰の下に大和民族としての傳統精神に依り眞道に活くることをモットーとして創刊されたる月刊雜誌の第一號、巻中掲載されたもの中村氏の「苦難の克服」同「大和民族と基督教」長谷部氏「詩三篇」高久氏「温泉行」萩原夫人「我が魂を懐く」諸橋博士、大森氏の醫學衛生講話、その他有益記事満載、四六版の美本で價十銭といふ廉價である

△松ヶ岡(第二輯)平第二小學校五年生の純情によりて作られた小きき創作玉の様な作品二十五篇が掲げられてある、磨寫版ずりのさやかなものであるが少女達の優雅な文藻を知るに絶好なるものとして推す

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

△久保町二七野崎豊氏(二四)箕輪村字迎五五野木モトヨ(二三)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

新學年の御用意

小學生用 ランドセル (十三種)
女學生用 手提カバン (十三種)

マルモト柴田書店

電話 二五九七

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

平驛の荷動きは 十八割の大激増

近年稀れな飛躍的數字

▽……「初賣景氣」の種明し

舊正初賣りは豫期以上の盛況に商店街を華々しく飾つて目出度く幕を閉ぢたがこの初賣りを控へた

舊年未には平町に於て幾何の荷が動いたか？平地方の景氣のバロメーターである平驛貨物取引所の統計に依れば本月一日から去る十二日迄の

發送は、二千五百四十三噸、この運賃三千五百三十六圓で昨年同期の一千七百噸、二千五百五十四圓に較べると一千四百三十六噸に於て實に十四割、運賃で四割六分の激増ぶり、斷然同所は舊年末の餘波を受けた横綱格である次に

到着は、押迫つた十一日の六百三十三噸を筆頭に合計六千六百八十六噸で昨年の二千六百一十一噸に比し四千七百四噸の増差！約十八割一斷シテ一割八分ではありませぬと一といふ一寸首肯の出來兼ねる様な飛躍ぶりである、勿論これは昨年

に於てすらこうした數字は得られなかつたと語つてゐる、正にこれは數年來初めて作られた貨物取扱の輝かしい

新記録である、尙この好成绩を品名に依て見ると發送では野菜の七十四噸、果物の三十八噸、鹽鮭の二十六噸、生魚酒の三十七噸等が主要なるもので到着で

は貸切の方で石炭、砂糖、金物、酒などが主で小口扱ひでは菓子類が例年になく激増して三十噸近い

で果物、木炭、酒などの順かくてこの大なる荷の幾割が二日の初賣りの當日僅か十時間そこ／＼の間に近郷町村民の需要を満たして「初賣り景氣」となつて現出した

一家爆破を 圖つた事件

昨日豫審終結

既報好間村大字上好間小川五郎氏方居住茨城縣生れ坑夫壽門次郎(三)が實家に歸つた儘再三歸宅を促しても歸宅せぬ内縁の妻遠藤ミヨに情夫が出來たものと誤解し昨年十二月十六日午前十一時頃ダイナマイト三本に点火して妻の實父赤井村宇揚下農園留守居方床下に投げ込み一家を塵殺せんとした事件は過般來平支部の豫審に附され荒井判事係りの下に取調べ中であつたが昨日午後二時頃終決有罪と決定殺人未遂及び爆發物取締

非常時國防

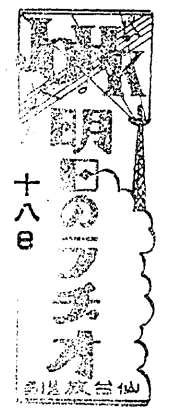
講演會開かる

非常時國防軍事講演會は來る二十一日平町軍人分會主催同國防研究會後援の下に午後零時半より聚樂館、同六時より第三小學校講堂に於て各開催されるが講師は白石玄海氏で演題左の如く會費は十錢であると

怪僧井上日召 五・一五

同期が

既に舊正月も半ばを經過したといふハンデキャップはあるがそれでも昨年の舊年末に當る一月



明日の平野

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
連續童話劇「あつたはた」(第二日)出演大阪童話研究会

後七、三〇 時事解説
後八、〇〇 ラヂオドラマ
「雄々しき妻」藤野良一外
數名

後八、四〇 東都劇場新風

事件 ロンドン條約 蘇聯極東戰略 第二次世界戦争

十三日會

廢止か?

平町智識機關として毎月開かれてゐた十三日會は過般來經費や種々な事情から中止或は隔月開催等の意見があるのので來る十九日午後七時よりマルトモホールに總會を開き種々協議することとなつた

各所で

無錢遊興
相馬郡石神村生れ當時住所不定遠藤三郎(三)は昨十六日午後十時頃南町飲食店第三新橋事佐々木サク方で十五圓八十錢の遊興を踏み逃走を計つたので平署に突出されたが同人は本月上旬若松市大町玉川旅館方に四日間滞在宿代七圓五十錢を踏倒して逃走した外五件の無錢飲食を自白したので餘罪取調中

獵天狗の腕は鳴る

獲物の數量で勝敗決定

平獵友會では來る廿五日午前九時より平署會議室で總會を開き豫算其の他を協議し終つて會員の競射會に移り會員は同日午後二時迄自由に狩獵を行つて永戸村合戸地内鑛泉に集合獲物の數量に依つて入賞者を決定すると

霧笛信號復活 豊間村鹽谷崎燈臺の霧笛信號は休止中の處去る十日から復活した

裁判所たより
△入遠野村大字入室字久保田荷馬折笠豊一(三九)去る十三日同村大字深山田字篠ノ脇農駒木根カネ(五六)さんを馬車に乗せ渡邊村大字釜戸字瀬峰地内湯本街道を通行中人通りのないのを奇貨とし暴行せんとしたが極力抵抗され目的を果さず左手及び左足首に全治約十日間を要する打撲傷を加へた事發覺昨日植田署に檢舉されたが本日一件書類と共に送檢され三堀檢事取調べの上刑務所に收容された

小麥増殖映畫

石城郡農會では本年度小麥増殖獎勵の爲め來月三日江名、四日山田の各小學校で映畫會を開く

産業青年講習

錦村絞南中堅農民學校では來る廿日から五日間産業青年講習會を開くが参加者は白米五升に現金一圓五十錢を持寄する由

平職業紹介所報告

求人を求める方
△漁業、雜役、二十迄 月五

- 小林佐兵衛「京山雪洲」
- 後一、五〇 夜討會我
- 花亭綾太郎
- 後二、〇〇 比叡の淡雪文
- 珠櫻菅原梅子
- 後三、〇〇 芦屋道滿大内
- 鑑東家樂遊
- 後六、〇〇 子供の時間
- 唱歌と童謡 第一部仙臺
- 市片平小學校兒童 ピア
- ノ伴奏 大野みさを
- 後六、二五 産業ニユース
- 後七、三〇 東都劇場新風
- 景(五)出演松竹少女歌劇
- 團帝國劇場より中繼
- 後八、三〇 俚謠
- 後九、〇〇 作曲家 別現
- 代歌謠曲集

- △外面談
- △女中、二十三才迄 尋卒
- 給料面談
- △小使、五十五六迄 日給
- 七八十錢位 外面談
- △出前持、二十前後 五圓
- 外面談
- △回職を求める方
- △難役、二十二才 高一修
- 給料面談
- △店員、五十五才 尋卒
- 給料面談
- △旅館番頭、二十八才 中卒 給料面談
- △鍛冶工、三十五才 高卒 給料面談
- △土工、三十七才 尋卒 給料面談

長唄

花柳流

御稽古な
おすゝめ
致します

花柳流舞踊
研究會
花柳徳三郎
杵屋十茂代

舞踊

花柳流舞踊
研究會
花柳徳三郎
杵屋十茂代

銘劍秘笈

【禁斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第百五十九回 徳川家に崇る村正

冗談から出た手

溝口五左衛門は悪い奴だが男振りには好い、それに都の武士、武骨な田舎武士とは違ふから、山家育ちのおちかの目から見たら、業平とはこんな人かと思つたに違いない、何んとなく思ひあり氣な様子にその道には永年苦勞して來てゐる溝口五左衛門、早くもそれと察して心中可笑しくつて仕様がなないが命の恩人であるし退屈過ぎにもなるから一つからかつて嬉しがらせてやらうと

五「貴様は定めし亭主があるだらうな」

おちかは恥かしさうに

ち「御冗談を仰言しやいます手前は不運と斯ういふ姿でございますから、誰も亭主になるものがございませぬ」

五「これは怪しからん事だ最前から様子を見るに至つて親切者、人は容色より只心、某も無妻であるから親父に話をして親父が承知をしたら拙者と共に江戸へ参らんか」

ち「エそれは眞實でございませぬか」

といふと女は眞赤に……



助け申し、それが御縁になつて且那様の處へ参るやうな事になりまします、何よりでございませぬ、そう仰言つたことをお忘れなすつてはいけません」

と、五左衛門の冗談をおちかは本當にしました

ち「且那様此處でございませぬ、誠にきたない家でございませぬ……」

茂「おちかや、お連れ申したか、何をしてゐるのだ大分ゆつくりだつたな」

ち「ハイ且那様の御身體が傷むといふので……」

茂「それもさうだつたな……」

……且那様、サアどうぞ此

に吉野にも居られなくなりましてこんな山の中へ引込二十二になりませぬ、好い縁があつたら嫁げたいと思ひますが可愛想に抱瘡を患ひましてこんな顔になりまして、これでも元は吉野小町といはれた位で諸方から嫁に呉れるの、私に呉れるのイヤもううるさいことと

五「お父さん又そんな馬鹿な事を言つて」

茂「イヤ賣物には花といふことがある、見てくれが悪くつても種が宜ければ宜い苗が生えることだ娘は今こんな事をしてゐても孫は宜いのが出来るといふ事を賣込まねえのは嘘だ」

五左衛門も笑つて

五「仲々爺は商賣氣がある種が宜いと申す處を見るとお前も若い時分には餘程美男であつたと見えるな」

茂「ナニ私はそれ程でもなかつたが私の女房が美しい女で、この娘はその阿母に生き寫しなんでございませぬ、だが残念な事に一人に死んで了ふし、一人は今こんな顔になつて終つたから、且那様眞實にして下さらねえでございませう」

この爺さん仲々隅へ置けないと五左衛門腹の中で笑ひながら

五「今も途中で娘に申したのだが、人は容色より只心どんなに美しい顔をして居ても、心の醜い者は感心出來ぬ、お前方親子は餘り容

うとも生涯見捨てん様に致す」

ち「有難う存じます且那様の御言葉を聞きまして私はこんな嬉しいことはございませぬ、今日は如何なる吉日でございませぬか、そだを取りに参つてあなたを……」

丸木の柱、茅の屋根軒端傾いた汚い家だ

五「イヤどうも娘には色々世話になつた」

茂「且那様、私共は元、吉野に居りませぬが、女房に死なれ、打撃く不幸の爲

色は好くないが、心が美しいから私は好きだ」

茂「こりやほめられてゐるのだから悪く言はれてゐるの分りませぬな、まあさうと今直きに難炊が出来来るからお上んなさい、濁酒もあるが疵には毒だから二三日辛棒しなすつた方が宜い」

何やかや親子が親切にしてくれる、就中おちかは己の良人と思ふかその手當の行届くこと、五左衛門も冗談に言つたがさうさういば憎くはないそれには飢い時の不味いものなしいつかおちかとおちかと思つた茂兵衛も娘から始終を聞いたから一寸不安には思つたが、出來たことは仕方がないと思つて居ります。

花柳病科 小兒科 内科

藤沼醫院

入院應需

町屋 紺屋 町番
電話五〇七

市原醫院

平町 田町
電話一一〇番

貸切の●●●

御用命は!!!

(獅子吼) 四四九ノ勢デ

眞先ニ…… (マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

旭硝子株式會社製品

板ガラス

製造 販賣

硝子 壺
硝子 食器

其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

吉田眼科病院

眼科専門

院長 吉田 安雄
醫學士 吉田 久雄

平紺屋町 電話六八番

耳鼻咽喉専門

入院應需

平町田町七〇番地

山内醫院

醫學士 山内亨吉
電話六九一